

科目名 (科目番号)	臨床実習 I (064313)	教員名	永井 智 他 全教員	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	実習		単位数	1
				オフィスアワー		火・3	A304(永井)	
授業概要	医療施設および介護保健施設の実地見学を行い、1)実習施設の機能的な役割、2)医療人としての基本的な接遇能力、3)理学療法の目的および疾患と障害の関係、4)理学療法士間および他職種との連携の重要性について学習する。							
準備学習	医療施設および介護保健施設の機能区分、理学療法士の役割、ICIDHおよびICFの分類について学習し、臨床実習に臨むこと。							
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標					
	1	実習オリエンテーション(1)	学習内容:臨床実習 I の目的、学習目標、成績評価、実習の心構えについて学習する。 到達目標:臨床実習 I の目的・学習目標、実習の位置づけを理解する。					
	2	実習オリエンテーション(2)	学習内容:個人情報保護法と具体的な個人情報の扱い方について学習する。 到達目標:個人情報保護の重要性と個人情報の扱い方について理解する。					
	3	実習オリエンテーション(3)	学習内容:実習ノートの記載方法、実習報告会の資料作成について学習する。 到達目標:実習中の課題とその作成方法について理解する。					
	4	実習オリエンテーション(4)	学習内容:臨床現指導者からみた臨床実習教育について学習する。 到達目標:臨床現指導者の視点からみた実習に臨むべき学生の心構えについて理解する。 (外部講師)					
	5	実習オリエンテーション(5)	学習内容:実習に臨むべき身だしなみや実習施設の機能的な役割、疾病と障害について再学習する。 到達目標:身だしなみや実習施設の役割、疾病と障害について理解する。					
	6	接遇セミナー(1)	学習内容:実習に必要な言葉遣いや挨拶、立振舞についてグループ単位で演習を行う。 到達目標:医療人としての基本的な接遇能力について理解する。					
	7	接遇セミナー(2)	学習内容:実習に必要な言葉遣いや挨拶、立振舞についてグループ単位で演習を行う。 到達目標:医療人としての基本的な接遇能力について理解する。					
	8	接遇セミナー(3)	学習内容:実習に必要な言葉遣いや挨拶、立振舞についてグループ単位で演習を行う。 到達目標:医療人としての基本的な接遇能力について理解する。					
	9	接遇セミナー(4)	学習内容:実習に必要な言葉遣いや挨拶、立振舞についてグループ単位で演習を行う。 到達目標:医療人としての基本的な接遇能力について理解する。					
	10	見学実習	学習内容:医療施設および介護保健施設にて見学実習(5日間)を行う(実習施設は後日掲示する)。 到達目標 1)実習施設の機能的な役割 2)医療人としての基本的な接遇能力 3)理学療法の目的および疾患と障害の関係 4)理学療法士間および他職種との連携の重要性について理解し、実践する。					
	11	見学実習						
	12	見学実習						
	13	見学実習						
	14	見学実習						
15	報告会	学習内容:見学実習で学んだ内容についてゼミナール形式の報告会を行う。 到達目標:実習を振り返り、総括する。また他者の実習について理解を深める。						
成績評価の方法・基準	実習報告書、実習報告会、提出課題から総合的に判定する(100%)。							
教科書	理学療法 臨床実習とケーススタディ	鶴見 隆正, 辻下 守弘(編)			医学書院			
参考図書								
教員からのメッセージ	開講場所や開講内容は変更となる場合があります。掲示をしますので、確認をして下さい。 実習中の担当教員は実習オリエンテーション時に発表します。各自、担当教員と相談し、打ち合わせをして下さい。							